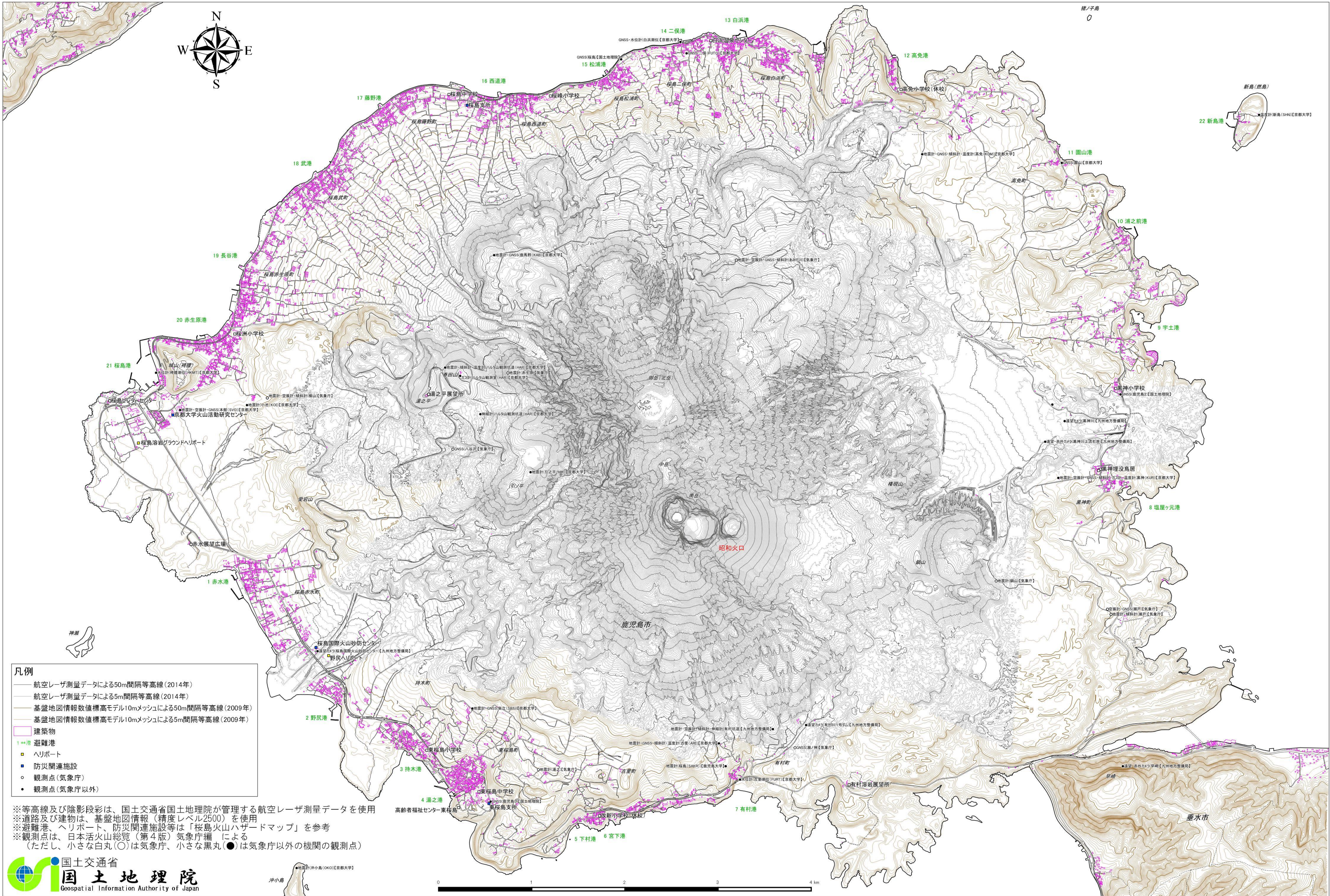
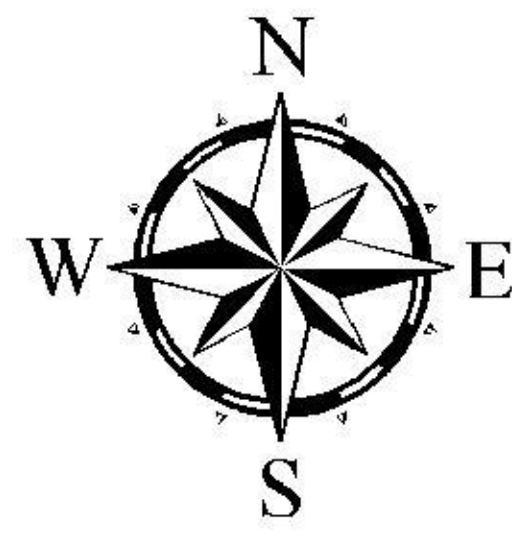


火山災害対策用図「桜島」(応急版)



- 凡例**
- 航空レーザ測量データによる50m間隔等高線(2014年)
 - 航空レーザ測量データによる5m間隔等高線(2014年)
 - 基盤地図情報数値標高モデル10mメッシュによる50m間隔等高線(2009年)
 - 基盤地図情報数値標高モデル10mメッシュによる5m間隔等高線(2009年)
 - 建築物
 - 1⇨⇨ 避難港
 - ヘリポート
 - 防災関連施設
 - 観測点(気象庁)
 - 観測点(気象庁以外)

※等高線及び陰影段彩は、国土交通省国土地理院が管理する航空レーザ測量データを使用
 ※道路及び建物は、基盤地図情報(精度レベル2500)を使用
 ※避難港、ヘリポート、防災関連施設等は「桜島火山ハザードマップ」を参考
 ※観測点は、日本活火山総覧(第4版)気象庁編による
 (ただし、小さな白丸(○)は気象庁、小さな黒丸(●)は気象庁以外の機関の観測点)